



協議会会長より

会長メッセージ

会長 栗原靖之（横浜国大）

いつも協議会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度の協議会総会シンポジウムは、10月に長崎大学のご協力のもと、長崎で開催いたします。今回のシンポジウムは【前半】【後半】の二部構成とし、より多角的な視点からの議論を目指しています。シンポジウムのテーマは「教育研究基盤エコシステムの構築と大学の多様な未来像 ～自律と共創による知の循環～」です。この副題には、国立大学に今、強く求められている姿勢や取り組みを込めました。

現在、研究基盤に関する国の施策は大きく変化しています。たとえば、卓越大学、J-PEAKSといった共用システムの整備、人材育成に関するガイドラインの策定、研究開発マネジメント人材の配置に関する制度整備の動きなどが進められています。こうした動きは、科学技術イノベーション政策の中核をなすものであり、私たちがきちんと理解しておく必要があります。

今回の前半では、教育研究基盤システムについて、文部科学省 大学研究基盤課の熊谷様、ならびに立場の異なる2大学から、それぞれの取り組み事例をご紹介します。後半では、これまでの「技術職員会議」を発展させた新たなステージとして、チーム共用のサポート人材の在り方を取り上げます。こちらは、文部科学省 人材政策課の大場様にご講演をお願いしています。

少し「技術職員会議」について説明します。この会議が始まった当初と比べると、状況は大きく変わりました。技術職員の認知度が高まっただけでなく、今では研究者のパートナーとして、チーム共用を構成する重要なメンバーとしての位置づけが広がっています。この間の活動を通じて、大きな成果が得られたと感じています。そこで、教育研究基盤を大学の教育研究力向上のエンジンとして活かすには、技術職員とセンター教員が一体となる必要があります。今回の後半セッションは、そうした連携の深化を見据え、技術職員会議の「次のステージ」として位置づけています。こういった背景で今年度は新しい形でシンポジウムを開催しますのでご理解くださるようお願いいたします。

最後にもう一点お知らせです。多くの皆様のご協力により作成した「教育・研究基盤を支える専門人材のためのエフォートテーブル」がこのたび完成し、公表いたしました。この完成版を文部科学省に持参し説明したところ、「まさにこういったものが必要だった」との高い評価をいただきました。今後、このテーブルは様々な場面で目にする機会があると思います。詳細はシンポジウムにてご説明する予定です。ぜひ各機関におかれましても、このような人事評価システムのあり方についてご議論いただければ幸いです。

引き続き、協議会活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年 人材委員会よりアンケートについて

4月に実施をいたしました「共用設備に関わる人材の業務内容の現状と評価についてのアンケート」に関しまして、最終的に121名、47機関からのご回答をいただきました。お立場によっては回答しにくか

った項目もありながら、多くの方々からご協力を得られましたこと、この場を借りて深くお礼申し上げます。皆様からいただきましたアンケートの集計結果をニュースレターと合わせて公開いたします。また、今回得られた結果をもとに「教育・研究基盤を支える専門人材のためのエフォートテーブル」を当協議会から提案させていただきます。このエフォートテーブルは、教育・研究基盤を支える専門人材である皆様の業務内容を一覧化したものであり、各機関・各センターの立場や考え方に合わせて適宜改変され、皆様の業務に対する適正な評価に活用されることを願っております。ぜひご一読いただき、皆様からの率直なご意見を幹事会のメールアドレス宛にお寄せいただければ幸いです。

■教育・研究基盤を支える専門人材のためのエフォートテーブルの提案

<https://jcrea.jp/content/files/BASEffort>

■アンケート結果

https://jcrea.jp/content/files/survey_20250610.pdf

【評価 WG】

森 加奈恵（佐賀大学）

松本 太輝（宇都宮大学）

稲角 直也（大阪大学）

小林 利章（電気通信大学）

西口 宏泰（大分大学）

平尾 嘉利（沖縄科学技術大学院大学）

2025 年度総会・技術職員会議・シンポジウム について(第 3 報)

令和 7 年 6 月 17 日（火）に、第 1 回実行委員会を開催いたしました。

実行委員会：

野口恵一（東京農工大学・協議会副会長）

三隅将吾（熊本大学・協議会副会長）

真木俊英（長崎大学・開催校・部門長・准教授）

小林利章（電気通信大学・技術人材委員会）

稲角直也（大阪大学・事業検討委員会）

早川 慶（長崎大学・開催校・研究国際部長）

津田信明（長崎大学・開催校・技術専門職員）

地福寿史（長崎大学・開催校・技術専門職員）

唐牛 譲（大阪大学・次期開催校）

江口奈緒（大阪大学・次期開催校・技術職員）

鈴木健之（大阪大学・次期開催校）

重要：

令和 7 年度の総会・技術職員会議・シンポジウムを
発展的に統合→「総会・シンポジウム」へ

2025 年シンポジウムテーマ

「教育研究基盤エコシステムの構築と大学の多様な
未来像 ～自律と共創による知の循環～」

開催概要：

午前 9:00～

総会（次期会長選挙）

ポスター発表会（各校からの展示を募集予定）

午後 12:30～

シンポジウム

前半（運営）、後半（人材） 終了：17 時

開催日時・場所は以下を予定しています。

記

日時： 令和 7 年 10 月 10 日(金)

場所： 長崎市 出島メッセ

<https://dejima-messe.jp/>

〒850-0058 長崎県長崎市尾上町 4-1



10月7, 8, 9日は”長崎くんち”です。宿泊の手配はお早目に。

令和7年度第1回臨時総会(報告)

会則第14条および第13条3に基づき臨時総会をメール一括審議により開催しました。

審議期間：5月30日（木）～6月5日（水）
議案（審議事項）

1. 令和5年度収支決算報告について
2. 令和6年度予算案について

承認44件・不承認1件

詳細はHPにてご報告させていただきます。

Discordのチャンネル増加中

Discordのチャンネルが増加中です。気になるチャンネルをチェック！

- ・長崎（総会・シンポジウム・技術職員会議）New
- ・分析相談なんでも
- ・NMR相談チャンネル
- ・フローサイトメーター
- ・DNAシーケンシング
- ・元素分析
- ・質量分析ms
- ・【終了】（新潟）総会・シンポジウム-フリースペース
- ・幹事会への意見・質問・ゆるい雑談
- ・会長のつぶやき
- ・医学・生物系広場

- ・共用機器の管理運営
- ・企業との連携について
- ・セミナー情報等
- ・リユース情報
- ・公募情報
- ・協議会小集会



Discord 招待二次元
バーコード

-----Discord への登録方法-----

下記のリンクは国立大学法人機器・分析センター協議会のDiscordの招待リンクとなっております。

<https://discord.com/invite/2w9CU4Asw7>（本招待リンクは招待期限なしとなっております。）

X (Twitter) もあります。

X (Twitter)で最新情報を配信しています。

<https://twitter.com/kikikyogikai>



協議会 X 二次元
バーコード

お願い

ご意見募集

このニュースレターや協議会活動についてお気づきの点がありましたら、Discord または下記のメールアドレスにてご連絡ください。

連絡先：kiki_kanjikai@googlegroups.com

国立大学法人 機器・分析センター協議会 ニュースレター No.14

発行日：2025年6月30日

編集：国立大学法人 機器・分析センター協議会
広報委員会

発行：国立大学法人 機器・分析センター協議会

連絡先：kikikyogikai@gmail.com

Website: <https://jcrea.jp/>

メーリングリスト：kiki_ml@googlegroups.com